

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2013年2月28日	2013年2月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目：	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、在リヨン出張駐在官事務所からのお知らせ

(1) 安全情報説明会について

2月1日、在リヨン出張駐在官事務所に於いて、アルジェリアで発生したテロ事件を受けた、安全情報説明会を行いました。

同説明会においてご案内した中で最も重要なものに、在留届の提出・更新があります。緊急時における安否確認と在留邦人の方々への情報提供には、皆様から届出のあった在留届の連絡先が活用されます。そのため、在留届の内容が最新に更新されていない場合は、せっかくの情報が皆様に届かなかつたり、安否が確認できないといった問題が生じます。住所・連絡先が変更となった場合は、変更届を必ず当事務所に提出いただき、また、帰国などで、ローヌアルプ州及びオーヴェルニュ州から転出する場合も、忘れずに帰国・転出届を提出してください。

(2) 参議院通常選挙

今年の夏には、参議院通常選挙が予定されています。在リヨン出張駐在官事務所でも、在外投票会場を開設する予定です。

在外投票を行うためには、あらかじめ日本の選挙管理委員会に在外選挙人登録をし、在外選挙人証の送付を受けている必要があります。この在外選挙人登録は、申請から、選挙人証が手元に届くまでに、約1ヶ月半の期間かかるため、夏に選挙が行われると考えれば、5月の中旬には、登録申請をする必要があります。

登録申請は、在リヨン出張駐在官事務所で行うことができますので、お気軽にお問い合わせください。

2、邦人対象の治安情報

- A. 一般的傾向
- B. 地区別・犯罪集計結果：補足文書1
- C. 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2

A. 一般的傾向

今月は個人宅を狙った空き巣、地下鉄や駅構内でのスリが目立ちました。特に東欧諸国出身者やホームレスによる犯行が多く報告されています。また、スーパーやパン屋などの小規模商店を狙った強盗事件も多く、老人夫婦が地下駐車場で身に付けていた宝石類を盗まれるという事件も報告されています。

[補足文書1]

B. 地区別 治安情報集計結果

地区別に見ると、リヨン東地区の特に Villeurbanne、リヨン2区、リヨン7区で犯罪が多く発生しています。次いでリヨン3区、リヨン北地区となっています。

2013年2月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アノ県	イゼル県	ロワール県	合計
殺人事件・凶悪事件			1									1					2
すり		2	2					1									5
空き巣・盗難	1	2	2		3	3	6			3	1		1				22
置き引き																	0
引ったくり								1									1
万引き		1								1			1				3
強盗・暴力窃盗		3		1					2	4						2	12
窃盗（車・自転車）										1							1
カー/ホームジャック																	0
車内盗難							1		1				1				3
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為		2			1		1						1				5
詐欺（カードなど）																	0
拉致、誘拐																	0
破損・放火		1					1			1	1						4
ストーカー																	0
麻薬取引・所持			1	1		1		1		1							5
飲酒/無免許運転	1				1												2
夫婦間暴力					1		1			1			1				4
軽犯罪			1														1
合計	2	11	7	2	6	4	10	3	3	12	2	1	5	0	0	2	70

備考欄：
 リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C. 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

ネットいじめ

数年前から、ソーシャルメディアを介したネットいじめが増加している。脅し、誹謗中傷、侮辱、名誉を傷つけるような写真の公開など、「匿名性」を利用した加害行為だ。

フランスでは、ネットいじめにより青少年が自殺に追い詰められるケースが数件報告されている。また、教員に対するソーシャルメディアハラスメントもある。

こうしたハラスメントの防止対策として、ソーシャルメディアのほとんどは、ストーカーとのコミュニケーションを最終的にブロックしてサイト管理者に通告するツールを提供している。ネットいじめの証拠として、メッセージが表示された画面のスクリーンキャプチャをとっておくことも推奨される。（プログレ紙 2月17日）

リヨン西地区が空き巣のターゲットに

今年1月から、リヨン西地区の一戸建住宅街が空き巣に狙われており、憲兵隊ではパトロールを強化している。ターゲットはゴールドのジュエリーと現金だ。空き巣は、東欧諸国（グルジア、コソボ、アルバニアなど）出身の犯罪組織によるケースが多い。

空き巣は午後の特に3時以降に犯行に移る。憲兵隊では、在宅中に、近所の家の近くで怪しい者を見かけたらすぐに通報（17番）し、自分の家の戸締りをもう一度確認するよう呼びかけている。（プログレ紙 2月20日）

① 空き巣、盗難

- Villeurbanne とリヨン 2区でそれぞれ 2月1日と 2月2日に空き巣事件が発生。Villeurbanne

市で事件が起きたのは午後 2 時半頃で、犯人がドアをこじ開けようとしていたが中には人がおり、警察に通報。犯人は何も盗らずに逃げようとしたが現場に駆けつけた警察官らに逮捕された。リヨン 2 区での事件は午前 5 時頃で、住民が不審な物音を聞きつけて空き巣と判断し、警察に通報した。警察官が駆けつけると、建物から 2 つの袋を持った男が出てきて、パトカーに気が付いて逃げようとしたが逮捕された。別のパトロール隊がアパートの中に入ると 2 人目の男がベッドの掛け布団の下に隠れているのが見つかった。盗難品の入った袋からは洋服やパソコンのモニター、宝石類などが見つかった。(プログレ紙 2 月 3 日)

- 2 月 2 日午前 4 時頃、リヨン 2 区の République 通りで、男性が携帯電話を使用していると見知らぬ男に電話を貸してほしいと頼まれた。男は電話をした後、男性に携帯を返さずそのまま走って逃げたが、ちょうど近くをパトロールしていた警察官らに逮捕された。(プログレ紙 2 月 3 日)
- 2 月 5 日、Villeurbanne で、グルジア出身の男 3 人組が空き巣の現行犯で逮捕された。4 人の男がアパートの庭に面したフランス窓をドライバーでこじあけて中に侵入。目撃者が警察に通報し、4 人は逃走したが 3 人が逮捕された。犯人らはパソコンと、ドアや窓をこじあけるための道具を所持していた。(プログレ紙 2 月 7 日)
- 2 月 7 日朝、リヨン 7 区で、男が 85 歳のお年寄り女性に近寄り、亡くなった夫が自分に借金があるといって女性の自宅までついてきて、現金 50 ユーロと封筒とペンを要求。お年寄りがキッチンに戻ると男はいなくなっており、現金とカバンが無くなっていた。(プログレ紙 2 月 9 日)
- 2 月 13 日夜 10 時 45 分頃、3 人のホームレスが Villeurbanne で警察に逮捕された。3 人はその数分前に、リヨン 6 区 Mongolfier 通りの住宅に侵入し、宝石類を盗んだばかりだった。(プログレ紙 2 月 15 日)
- 2 月 15 日夜 7 時頃、リヨン 3 区パール・デュー駅前の広場で、ルーマニア出身の 10 人ほどのグループが通行人の 1 人を取り囲み、すきを狙って携帯電話を盗んで逃走。その後犯人らはリヨン 7 区で公共交通警察に逮捕された。(プログレ紙 2 月 17 日)
- 2 月 19 日夕方 5 時 45 分頃、リヨン 2 区地下鉄 Bellecour 駅で、ルーマニア出身の 16 歳の少年が、地下鉄利用者のカバンに手を入れて GPS 機器を盗んだところをスリの現行犯で SISTC (公共交通治安部隊) に逮捕された。少年はその他に、同日午後ブラジル人学生から盗まれた携帯電話も所持していた。(プログレ紙 2 月 20 日)
- 2 月 24 日午前 3 時 20 分頃、リヨン 7 区で、ホームレスの 2 人組が空き巣の現行犯で逮捕された。2 人は同区にあるアパートの 1 階の窓を割って中に侵入し、盗みを働こうとしていたところをパトロール隊に見つかった。(プログレ紙 2 月 25 日)
- 2 月 22 日昼前頃、リヨン 1 区で、82 歳の老人が偽の水道局職員と警察官の手口による盗難の被害に遭い、ゴールドのブレスレットを盗まれた。
警官や職員と名乗る者が訪ねてきても決してドアを開けず、必ず身元を確認すること。
(プログレ紙 2 月 26 日)
- 2 月 25 日午後リヨン 8 区でスリの現行犯で逮捕されたルーマニア出身の 20 歳の男が、昨日 5 ヶ月の禁固刑を言い渡された。男は犯行当日、同区で女性から小切手帳を盗んだばかりのところを公共交通治安部隊に逮捕された。(プログレ紙 2 月 28 日)

② 強盗・脅し窃盗

- 1 月 31 日夕方 6 時半頃、リヨン 8 区 Paul-Santy 通りの Casino Shop に覆面の 2 人組が押し入り、共犯者が外で見張っている間に経営者の喉にナイフを突きつけて売り上げ金を脅し取るとそのまま逃げた。経営者は軽い傷を負った。(プログレ紙 2 月 2 日)
- 2 月 3 日午前 6 時半頃、Le Coteau (ロワール県) のあるパン屋に 3 人組の男が押し入り、ガラスの破片で従業員を脅すとレジの現金 150 ユーロを奪って車で逃走した。(プログレ紙 2 月 4 日)
- 2 月 8 日夜 8 時過ぎ頃、Villeurbanne のガソリンスタンドにナイフを持った強盗が押し入り、レジの現金を奪って逃げた。被害額は少ないと見られる。(プログレ紙 2 月 10 日)
- 2 月 11 日朝 10 時頃、Villeurbanne で、覆面の男が 30 歳代の女性のアパートのドアベルを鳴

らし、用心せずにドアを開けた女性をナイフで脅すと宝石類を奪って逃げた。被害者の女性に怪我はない。(プログレ紙 2 月 13 日)

- 2 月 18 日午前 5 時半頃、リヨン 8 区にあるブラッスリー「Le Bon Coin」で、開店時に強盗事件が発生。覆面の男がピストルでレジの現金を脅し盗った。この店が強盗の被害に遭ったのはこれで 10 回目。前は 1 月 13 日だった。(プログレ紙 2 月 19 日)
- 2 月 18 日夜 10 時頃、Villeurbanne で、覆面の男が閉店後のバー・PMU に侵入し、中にいた経営者を脅して現金を奪った。(プログレ紙 2 月 19 日)
- 2 月 21 日夜 9 時半頃、リヨン 4 区 Mail 通りにあるカルフル・マーケットに武装した覆面の男が押し入り、ピストルで手人を脅して金庫を開けさせると中にあった現金を奪い、外で待っていた共犯者とスクーターで逃走した。(プログレ紙 2 月 23 日)
- 2 月 24 日午後 3 時半頃、Villeurbanne で、90 歳と 88 歳の老人夫婦が自宅のアパートの地下駐車場で強盗の被害に遭い、身に着けていた宝石類を盗まれた。幸い暴力は受けなかった。(プログレ紙 2 月 26 日)

③ 暴力・窃盗事件

- 2 月 2 日夜 11 時半頃、リヨン 2 区ペラーシュ駅構内のエレベーターの中で、18 歳の若者が 2 人の男に頭を殴られて銀行カードと携帯電話を奪い取られた。犯人の 1 人はその後捕まった。(プログレ紙 2 月 5 日)
- 2 月 19 日午後 7 時頃、リヨン 3 区で、15 歳の少年 2 人が警察に逮捕された。2 人はその前にリヨン 8 区で通行人から携帯電話をひったくった疑い。(プログレ紙 2 月 21 日)
- 2 月 24 日午前 2 時から 3 時の間に、リヨン 2 区の Auguste-Comte 通りで、25 歳の男性が暴力を伴う窃盗の被害に遭い、持っていたラップトップコンピュータを盗まれた。パソコンには会社の会計関連の機密データが保存されていた。(プログレ紙 2 月 26 日)

2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

3. 在留邦人の被害事例

2 月 25 日、出張でリヨンを訪れていた日本人が、ペラッシュ駅の待合室で、2 人組の男性にケチャップのような液体をかけられ、同僚に荷物を預け、拭き取っていたところ、同僚にも同様の液体がかけられ、荷物から手を離れた瞬間に、荷物盗まれるという犯罪が発生しました。

4. その他の情報

3 月 4 日から、ローヌ県で、オンライン盗難仮届出が利用可能に

この新しいサービスは、犯人不明の、財産を対象とした被害に限られる。盗難、詐欺、破損など、財産を対象とした被害は、ローヌ県では盗難届けの 3 分の 2 (約 75000 件の手続き) を占める。警察署での被害者の受け入れ改善と、平均 1 時間半を要する届出手続きの待ち時間短縮を目的としたものだ。他の県ですでに試験的に導入されているこのオンライン仮届出では、被害者はサイト (www.pre-plainte-en-ligne.gouv.fr) でオンラインの届出を行い、必須入力項目に入力した後、届出の署名をしたい場所を指定する。被害者は 24 時間以内に署名場所の確認通知を受け取る。届出は、警察署、派出所、憲兵班で実際に調書に署名されるまで無効なため、これらの場所に向くことは免れないが、届出側にとっても受け入れ側の警察官・憲兵隊員にとっても手続き上の時間の短縮が可能になる。但し、オンライン届出が事件の早期解決につながるというわけではない。また、緊急の場合はオンライン仮届出は利用せず 17 番に通報することが推奨される。(プログレ紙 2 月 22 日)